

# やまと文化の森だより

## ○第2回 クリスマスツリーコンテスト 入賞作品が決定しました！

12月に実施しましたクリスマスツリーコンテストにつきましては、各自治振興会・区の皆様に飾り付けから展示までご協力を賜り誠にありがとうございました。館内には、前回に引続きクリスマスツリーが一堂に並び、どれもより一層パワーアップして来館者の方々を楽しませていました。各自治振興会・区の自由な発想、地域の特性を活かした飾り付けはどれも素敵で、イルミネーションもクリスマスを演出してくれました。今回は、コロナ禍の真ただ中ということもありコロナへの思いが多く取り入れられていましたが、今回の作品は未来への希望を込めたメッセージが多かったように感じます。期間中、多くの方にご来館いただき、皆さん悩みながらも好きなツリーに投票されていました。気になるコンテストの結果は以下のとおりです。今年も皆さんが元気になるような楽しいイベントを企画しますので、やまと文化の森をどうぞよろしくお願い致します！

### 【クリスマスツリーコンテスト結果】

- ・特賞 白糸第一自治振興会
- ・1等 浜町B自治振興区
- ・2等 朝日自治振興区、御岳自治振興会
- ・3等 菅地域振興会、御所自治振興区



特賞 白糸第一自治振興会

1等 浜町B自治振興区

※投票数にはやまと文化の森からの距離に応じて加点して集計しています。

【表彰式】 1/19 10:00～

※自治振興会・区には案内を別途送付しています。

## 企画展のご案内 ※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容が変更になる場合があります。

好評開催中!! ～1/29 (最終日は15:00までの展示です)

### 2022 新春展示は山の都のつくり人シリーズ【併設展示】

#### ○「小ヶ蔵セロリーズ作品展」

地元女性部の趣味のクラフト作品が新春の華やかさを添えて並びます。



#### ○「Ray.M 作品展」

地元在住のイラストレーターによる繊細なペン画作品展。

是非お越しください。



#### ○趣味の講座参加者募集中!

2/11 13:00～ (参加費 1000円 定員 15名)  
講師：木原晴栄

あなただけの癒しの空間を作りませんか。



#### ○2/2～2/27 さんサンなかま展

町内小中学校支援学級の児童生徒の作品展。  
子どもたちの笑顔あふれる作品をお楽しみに!

問合せ先 やまと文化の森 山都町下市16番地 ☎72-9400 開館時間 9:00～17:00 入館無料  
休館日 毎週月曜日 (月曜日が祝日又は振替休日の場合はその翌日)、年末年始等

# わたしたちの人権 202

誰もが人間として生きていくうえで 侵すことのできない当然の権利 これが『人権』です

## 人権作文紹介 (令和二年度)

今月は、蘇陽小学校一年(当時) 二宮 海菜さんの作文です。

### もりのなかま

わたしは、じんけんがくしゅうで「もりのなかま」をべんきょうしました。らいおんのおうさまやたぬきのぼんきちに そうこからたべものをぬすんだと きめつけられたうさぎのみみすけが いいことを かんがえました。みみすけは、わたしはしていません。見ていないのに いわないでください。じぶんたちも きめつけて いわれたら いやなきもちになるでしょ。と いったかったと おもいました。さいばんをきいていたのに だまって なにも いわないちゅうたに だまっていいの。と いたいで す。そうぞうしてから かんがえて じぶんのきもちを いったい かんげないよ といっけてにげた

りすおには、さいばんを きいてい たから かんげいあることだよ。と おしえたいです。かんげいあると いうことを、じぶんでかんがえて わかるようになってほしいです。 みんながいつているから 見てい ないのに きめつけた もんこに は、らいおんのおうさまみたいに きめつけるのは だめだとわかって ほしいです。 わたしは、みみすけみたいに き めつけられたことがあります。そ れは、ともだち三人から「こつちに きてー。」といわれたときのことです。ともだちは、三人で はなして いたけど わたしは一人でした。か ら、一たい三になって こわいとお もいました。それは、ひとりで た ちむかうことになるからです。けん かななる とおもったから、三人の ともだちのところへは いきません でした。そのことを 見ていた人か ら、わたしのはなしもきかないで 「おともだちをたいせつにしない人

は、きらい。」とおこられました。はなしもきか ないで きめつけるのは おかしいと おもいました。わたしは、みみすけ みたいになって こわくて なきそ うで いやだったです。らいおんの おうさまや ぼんきちから きめつ けられた みみすけも おなじきも ちだったとおもいました。 でも、わたしは じんけんがく しゅうのときに そうこから たべ ものをぬすんだのは、もんことぼん きちじゃないかと きめつけていま した。そのとき、わたしは、見てい ないのに きめつけた ぼんきちに なっていました。さいしょは、ぼん きちになつていて ことば きづきま せんでした。じぶんのかんがえを いうまえに そうぞうしてからいい たいです。 わたしは、じんけんがくしゅうを して きめつけは いけないとおも いました。みみすけにもなったこと があるし、ぼんきちにもなったこと もあるから、二人のきもちがわかり ます。これからは、みみすけになっ ている人にきづいたら、たすけて、 いっしょに「いかんよ。」というな かまに なりたいです。きめつけら れたら、じぶんから「やめて。」と

いいたいです。これはいいか、これ はいいかと かんがえて きめつけ ていることに じぶんできづきたい です。そして、わるいことと いい ことにきづいたら ともだちにも きもちをいいたいです。

次回より、令和三年度の人権作文の紹介を行います。

## 山都町「人権を考える町民の集い」を開催しました

人権旬間の期間中である十二月九日千寿苑にて、人権の風代表である栗山重信さんを講師にお招きして、「みんな幸せに」と題して講演いただきました。内容は、実際にあった結婚差別の事例を中心に、表面には見えづらい差別の実態が今なお続いている現状を知る大切なメッセージが込められていました。当日は、約百名の参加があり、人権の風メンバーによる「星影のワルツ」の演奏も披露されました。

